

教育・保育に係る量の見込み及びその提供体制の確保方策（H30実績）

参考資料 1

（単位：人）

	1号認定（2号認定以外の3～5歳児）			2号認定（保育認定を受けた3～5歳児）						1号+2号 (③+⑥)	
	量の見込み (需要量) ①	確保方策 (供給量) ②	③ (②-①)	量の見込み（需要量）			確保方策（供給量）				⑥ (⑤-④)
				④ (A+B)	教育ニーズ A	保育ニーズ B	⑤ (C+D)	教育保育施設 C	地域型保育 D		
計画値	6,513	11,728	5,215	21,218	3,902	17,316	19,179	18,933	246	▲ 2,039	3,176
実績値	-	9,068	2,555	-	-	-	20,394	20,285	109	▲ 824	1,731
差（実績-計画）	-	▲ 2,660	-	-	-	-	1,215	1,352	▲ 137	-	▲ 1,445

	3号認定（0歳児）				3号認定（1・2歳児）						需要量 (総数) I ①+④+⑦+⑩	供給量 (総数) II ②+⑤+⑧+⑪	II-I ③+⑥+⑨+⑫
	量の見込み (需要量) ⑦	確保方策（供給量）			⑨ (⑧-⑦)	量の見込み (需要量) ⑩	確保方策（供給量）			⑫ (⑪-⑩)			
		⑧ (E+F)	教育保育施設 E	地域型保育 F			⑪ (G+H)	教育保育施設 G	地域型保育 H				
計画値	3,251	3,517	3,446	71	266	12,280	12,505	12,208	297	225	43,262	46,929	3,667
実績値	-	3,815	3,713	102	564	-	12,216	11,970	246	▲ 64	-	45,493	2,231
差（実績-計画）	-	298	267	31	-	-	▲ 289	▲ 238	▲ 51	-	-	▲ 1,436	-

○量の見込み（需要量）は、平成26年時点の教育・保育施設の利用状況に、今後利用したいという潜在的な利用希望を加えたものである。

○確保方策（供給量）は、平成26年時点で、各市町村の利用定員数を積み上げたものであったが、1号、2号及び3号の全てにおいて、計画を下回る利用定員となっている。

○今後とも、施設整備（ハード面）、保育士等の確保（ソフト面）及び利用定員調整（ソフト面）等により、適切な需給調整となるよう市町村と協議してまいりたい。

【参考】各施設利用児童数 1号+2号：27,727人、3号（0歳）：5,152人、3号（1・2歳）：12,858人 計45,737人